

# Rohm Music Friends<sup>♯</sup>

ローム ミュージック フレンズ

2016.12 | No.4

—ローム ミュージック ファンデーションの音楽文化支援情報誌—



ピエール=オーギュスト・ルノワール「ピアノを弾くイヴォンヌとクリスティヌ・ルロル」1897年  
Yvonne and Christine Lerolle at the piano, 1897  
© Bridgeman Image / amanaimages



ローム ミュージック ファンデーションは  
音楽を通して  
豊かな文化を作ることが  
目指しています。



# *Rohm Music Friends*

No.4  
2016.12

## 目次

- p03 活躍する奨学生 インタビュー
- p07 2016年度 奨学生のご紹介
- p12 ローム ミュージック フレンズからのお便り
- p17 ローム ミュージック フェスティバル2016
- p23 京都・国際音楽学生フェスティバル2016
- p25 音楽セミナー2016(管楽器クラス)
- p27 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIV
- p31 ロームシアター京都
- p33 奨学生一覧



# 活躍する 奨学生 インタビュー

VOL.4

*Dai Miyata*

宮田大 [チェロ]

2010~2012年度奨学生

給付時の在籍学校:ジュネーヴ音楽院/  
クロンベルク・アカデミー



©Shunji Kamemura

## Profile

宇都宮市出身。音楽教師の両親のもと3歳よりチェロを始める。幼少よりその才能は注目をあつめ、第74回日本音楽コンクールを含む出場するすべてのコンクールに第1位入賞する。第9回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクール(パリ)で日本人として初優勝。桐朋学園音楽部門特待生、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業。2009年にジュネーヴ音楽院卒業、2013年にクロンベルク・アカデミー修了。これまでにチェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京カルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガボール・タカーチ=ナジの各氏に師事する。国内外の音楽祭などでコンサート活動を活発におこなっている。使用楽器は上野製薬株式会社から貸与されている1698年製ストラディヴァリウス“Cholmondeley”。オフィシャルサイト:<http://www.daimiyata.com/>

国内外で活躍されているチェロの宮田大さん。音楽との出会いから奨学生時代、現在の活動までいろいろなお話を伺ってきました。

—チェロを始められたきっかけをお聞かせください?

母がヴァイオリンを、父がチェロを教えているので、私もまずヴァイオリンを始めました。でも動き回る子だったので、始めて1年も経たない3才のときに「座って弾けるチェロにしませんか」と転向しました。

両親は主に子どもたちに教えていたので、子どもが飽きないように工夫してレッスンしてくれました。例えば、レッスン室以外でも机の上や屋外など練習場所を変えてみたり、弓を持つ手を床と平行に動かすためのレッスンでは、手の甲に鉛を乗せて弾けたら食べられる、というように遊び感覚で楽しかったですね。

音楽の道に進むと決めたのは、高校で桐朋学園大学音楽学部付属高等学校に進学したころです。それまでは、パイロットや海洋生物学者などに憧れていたこともありました。

—家庭のなかに自然と音楽があったのですね。9歳から出場するコンクール全てで第1位入賞されているそうですね。桐朋学園大学音楽学部付属高等学校を経て、同大学在籍中に日本音楽コンクールも優勝されましたね。

コンクールをきっかけに、みなさんに少しずつ知っていただけるようになりました。

高校1年生のとき、桐朋学園大学音楽学部創立50周年記念演奏会でハイドンのチェロ協奏曲を演奏し、小澤征爾さんが指揮してくださいました。



クロンベルク・アカデミーにて  
アンドラーシュ・シフ先生に学ぶ

その後、師事していた先生方の勧めもあり、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトの2003年「こうもり」・2004年「ラ・ボエーム」に参加させていただきました。いろいろな所で公演があり、練習期間も長く、そのおかげで知り合いも増え、交流範囲も広がりました。本当に良い経験になりました。

—海外ではジュネーヴ音楽院とクロンベルク・アカデミーに在籍されていましたね。

ジュネーヴではカルテット(弦楽四重奏)の勉強をし、クロンベルクではチェロを勉強していました。ジュネーヴとフランクフルトは電車で8時間程度。よくテレビで見えるような長閑な車窓風景を眺めながらの移動でした。

—ジュネーヴでカルテットを組まれていた際のメンバーは、みなさんルーム ミュージック ファンデーションの奨学生の方でしたか。

ヴァイオリンの植村太郎さん、佐橋まどかさん、ヴィオラの原麻里亜さんと組んでいました。

—海外の学校に在学中も日本によく帰って来られていたそうですね。

有難いことに日本での演奏会の機会も多くいただいていたので、少なくとも3か月に1回は帰国していました。海外で学んだことをすぐに日本の演奏会で実践できたので、とても勉強になりました。

さまざまな国、国籍の方と共演すると、音楽の雰囲気の違いを感じます。そのなかで、私は日本人として日本人の弾き方を大切にしたいと思うようになりました。昔は、日本人が西洋音楽をするということに違和感を持つ考えもあったと思いますが、今、日本の西洋音楽の水準はとても高いと思います。



©宮田大



©堀田力丸

ようにしています。そう考えた途端に、演奏会は発表会になってしまい、自分で粗探しのようにマイナスポイントを付けてしまうので。

演奏会毎の雰囲気、お客様の表情などを感じて、その場だけの音楽ができればと思っています。

—現在の活動について教えてください。後進の指導などもされていますか？

演奏活動がメインですが、チェロの倉田澄子先生に師事していたので、倉田先生の教え子たちに少し教えたりしています。先生の教え子で僕も関わったことがあった子が、日本音楽コンクールで優勝したりもして、そういう子が出てきてくれるとうれしいですね。これまでチェロはドイツあたりが上手だったんですけど、日本人のレベルも上がっているんです。日本人の勤勉さが良いのでしょうか。

—演奏は、コンチェルトの機会が多いようですね。

コンチェルトでは、オーケストラが入るため、パワーのある大きな音で演奏することが多いです。その分2~3ヵ月毎に開催するリサイタルで、細かなニュアンスとか色々な感情の変化を繊細な音で表わすことに意識を向けるようにしています。

その他ピアノトリオなどの室内楽でも、共演者から学ぶことが多いので、これからもいろいろと続けていきたいと思っています。

—今、思い入れのある曲は何ですか？

黛敏郎さん作曲の「文楽」、2枚目のCDに入らせていただいた曲です。

クロンベルク・アカデミー修了後、アカデミー主催のコンサートにてクリストファー・ボッペン指揮/S.K.ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団と共演



左/フランス・ヘルメルソン先生と  
右/ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにて

受けるのがこれが初めてでした。先生が「コンクールとはいえ演奏するだけだから!失敗や音程を外すことも、その時感極まって出た音であればそれも今できる音楽のひとつ、そんな音もあるから綺麗な音が活きてくる」と背中を押してもらい、そのお考えのおかげで殻が破れたというか、怖さがなくなりました。

1次審査はテクニカルなパッサの曲などで楽しむところまではいけなかったのですが、2次審査以降は演奏会のような気持ちで私の演奏を知らないお客様の前で演奏できることを楽しみました。他の出場者の演奏を聴くこともとても勉強になりました。

音楽をやっているとなかなか恩返しというのが難しいのですが、この優勝によって両親をはじめお世話になってきた方々へ少しは恩返しできたのかなと思います。母は普段のコンサートでは客席の一番後ろで聴くことが多いのですが、ファイナルの時は事務局の方が前から3列目中央の席を用意してくださり、近くで聴いてくれていたことを覚えています。

その後すぐ、以前から決まっていた演奏会が京都で予定されていたため急いで帰国しました。京都市交響楽団とのベートーヴェンのトリプルコンチェルトでした。チェロがすごく難しい曲なのに弾いたことがなかったので必死で練習した記憶があります。

この優勝後しばらくは、演奏会毎にとっても緊張していました。変な演奏をしてはいけないと思うし、テクニックだけでは飽きられてしまうので、人間味のある自分らしい音が出せているかなど、よく考えました。

—奨学生当時の報告書に『Make Music から Feel Musicに』と書かれていますね。

練習したことを披露するという考えはしない

日本では演奏会は特別な空間、日常と違う世界という印象をお持ちの方も多いと思います。そのなかで聴こうと構えると結局何を聴いているのか分からなくなる方もいらっしゃると思うんです。ヨーロッパは、街並みも人も、日本より人間的なところがありますよね。音楽が生活の一部として、コンサートでも自然体で音楽を共有し堪能しているように感じます。その自然な雰囲気が音楽に溶け込むことで音楽の素晴らしさがより浮き出ると思うことがあります。

僕は、音楽を知らない人にも身近に感じていただき、一緒に共有できるような音楽をしたいと思っています。そのために音楽家以外の一般的な感覚も持っていたいと思っています。

—少し音楽から外れますが、スポーツもお好きそうですね。

昔、バレーボールをやっていました。子どものころからのチェロの練習で指の筋力が人より発達していたのか、セッターでボールを上げると、天井に届くくらいまで上がったんです。それでおだてられて始めました。両親に相談せずに入部したので、びっくりしていましたが。バレーボールのお陰で、指がより強くなって、チェロでもより強い音を弾けるようになったと思っています。

つい最近までバドミントンもやっていたが、手を壊すので、今は夏だけスキューバダイビングを楽しんでいます。

—2009年、チェロ部門の国際音楽コンクールの最高峰と言われるフランス・パリ市主催のロストロポーヴィチ国際チェロコンクールで日本人として初優勝されました。

クロンベルク・アカデミーの1年目で、国際コンクールを



□ 今後の演奏会予定(日本国内のみ)

●長原幸太[ヴァイオリン] × 宮田大[チェロ] × 田村響[ピアノ]  
ピアノトリオ コンサート  
2016年12月20日(火) 18:30 那須野が原ハーモニーホール 大ホール  
12月23日(金・祝) 15:00 所沢市民文化センター ミューズ  
12月25日(日) 19:00 青葉区民文化センター フィリアホール

●東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団 第305回定期演奏会  
2017年1月13日(金) 19:00 東京オペラシティコンサートホール

●宮田大 チェロリサイタルツアー(ピアノ:ジュリアン・ジェルネ)  
2017年3月5日(日)~10日(金) 茨城、福岡、名古屋、東京

●大阪フィルハーモニー交響楽団 定期演奏会  
2017年3月17日(金) 19:00 フェスティバルホール  
2017年3月18日(土) 15:00 フェスティバルホール



# 2016年度 奨学生の ご紹介

2016年度の  
奨学生29名を紹介します。

氏名[専攻]  
給付時の在籍学校  
奨学生年度  
今後の抱負

うめむら ともよ  
**梅村 知世** [ピアノ]  
ベルリン芸術大学大学院  
2016年度奨学生

芸術家として更なる成長を  
目指し、積極的にヨーロッパ  
や日本での音楽活動に取り  
組むなかで、ドイツ音楽の  
魅力を伝えていきたいと  
思います。



おかもと せいじ  
**岡本 誠司** [ヴァイオリン]  
東京藝術大学  
2015年、2016年度奨学生

これまで目の前のことに  
ひたすら全力で取り組んで  
きたので、いよいよ今後は  
日本だけに留まらず欧米で  
も自分を試し、さらなる経  
験を積み、次なるステップ  
へ進みたい。



くろとみ りょうた  
**倉富 亮太** [ヴァイオリン]  
東京藝術大学大学院  
2016年度奨学生

国際的に通用するオーケス  
トラでの演奏法を確立し、  
ソロ・室内楽・オーケストラ  
と幅広い活動をしていき  
たいと思います。



いしい ふうこ  
**石井 楓子** [ピアノ]  
パーゼル音楽院大学院  
ケルン音楽大学  
2016年度奨学生

ヨーロッパで、積極的なソロ  
の勉強と同時に、さまざま  
な人とのアンサンブル、また  
日常の交流を通して、自分  
の音楽を深め、磨いていき  
たいと思います。



おおの わかな  
**大野 若菜** [ヴィオラ]  
ベルリン国立ハンス・  
アイスラー音楽大学  
2015、2016年度奨学生

ベルリンフィルとカラヤン  
アカデミーによるメティス・  
カルテットの活動の他、  
日本でのソロ演奏の機会に  
も留学で学んだことを生か  
したいと思っています。



かとう だいき  
**加藤 大樹** [ピアノ]  
昭和音楽大学大学院  
2016年度奨学生

徹底して自身を鍛え、音楽  
家として平和・文化・教育  
における社会貢献に寄与  
する一流の人材へと成長  
してまいります。



くろいわ こうき  
**黒岩 航紀** [ピアノ]  
東京藝術大学大学院  
2016年度奨学生

ピアノソロ演奏、オーケストラ  
との共演に加え、他楽器と  
のアンサンブルも積極的  
に行っていきたい。また国内  
外での研修会、コンクール  
参加で研鑽を積みみたいと思  
います。



いしむら じゅん  
**石村 純** [ピアノ]  
トリニティ・ラバン  
コンセルヴァトワール大学大学院  
2013、2016年度奨学生

博士課程での研究を通じ  
て、今後の音楽界に幅広く  
貢献できたらと思うと同時  
に、ピアニストとしてもより  
大きく成長していきたいと  
思います。



おかだ しょうこ  
**岡田 昌子** [ソプラノ]  
ニコロパガニーニ国立音楽大学  
2014、2016年度奨学生

揺るぎないイタリア本場  
オペラ誕生の地で本物の  
発声を確立し、世界レベル  
のキャリアができることを  
目指します。日本とイタリア  
の架け橋になれるよう研修  
したいです。



きたづめ ひろみち  
**北爪 裕道** [作曲]  
パリ国立高等音楽院  
2016年度奨学生

2016-2017年度はIRCAM  
の作曲研究課程で1年間研  
鑽を積みます。さまざまな  
電子音響技術の可能性を吟  
味しながら着実に吸収し、  
その成果を今後の自らの作  
曲語法の発展に生かせるよ  
う努めたいと思います。



くろかわ ゆう  
**黒川 侑** [ヴァイオリン]  
桐朋学園大学大学院  
2016年度奨学生

自分の音楽をより大きく広  
げていくために、多くの出  
会いや経験を通して、研鑽を  
積んでいきたいと思  
います。



こばやし いっせい  
**小林 忼成** [ヴァイオリン]  
 東京藝術大学  
 2016年度奨学生

将来音楽界に大きく貢献できる人材となるように、幅広く教養と経験を深め、感性を磨いて成長したい。本年度は海外国内セミナーや海外国内コンクールの参加、演奏活動を大事にして勉強し、留学の準備を始めたい。



©Shigeto Imura

すずき まい  
**鈴木 舞** [ヴァイオリン]  
 ミュンヘン音楽大学  
 2015、2016年度奨学生

クラシック音楽の本場ヨーロッパの土地に根ざした芸術の流儀を、一流の演奏やアーティストから吸収することで自分の感性を磨き、独自の表現を体得したい。特にコンチェルトの魅力も多くの人に伝えていける個性豊かなメッセンジャーを目指したいと思います。



©Kei Uesugi

ちば みずき  
**千葉 水晶** [ヴァイオリン]  
 ブリュッセル王立音楽院大学院  
 2016年度奨学生

留学中には音楽だけでなく、美術館やクラシック音楽が生まれたヨーロッパの街並みや建造物、歴史などを体感し、自分の感性を磨き、この機会にしかできないことを経験し吸収したいと思います。



なかじま りょう  
**中島 諒** [サクソフォーン]  
 ベルサイユ地方音楽院  
 2015、2016年度奨学生

昨年は、国際コンクールや世界的な音楽のイベントに多く参加いたしました。今年度は、留学を通して、音楽はもちろんさまざまな国の文化や感性を吸収して国際的な音楽家を目指します。



ささぬま たつき  
**笹沼 樹** [チェロ]  
 桐朋学園大学  
 2016年度奨学生

国内でのソロや室内楽の勉強をふまえ、今後はより一層海外の音楽祭やセミナーに積極的に参加し、精進していききたいと思います。



©Shigeto Imura

たくみ けい  
**内匠 慧** [ピアノ]  
 英国王立音楽院大学院  
 2015、2016年度奨学生

クラシック音楽から現代音楽にいたるまでのトップクラスの演奏を身につけたい。国内外でのコンサート機会を継続して獲得し、音楽文化の発展に貢献したい。



つじ あやな  
**辻 彩奈** [ヴァイオリン]  
 東京音楽大学  
 マンハッタン音楽院  
 2015、2016年度奨学生

常に挑戦者の気持ちを忘れず精進し、自分の音や音楽を追求していきたいです。



はやし ゆうこ  
**林 佑子** [ソプラノ]  
 ワイマール・フランクフルト音楽大学大学院  
 2016年度奨学生

本場ドイツで格調高い音楽と文化に触れながら自分の歌に研鑽を重ねることで、自分の可能性を最大限に広げていきたい。



すきた えり  
**杉田 恵理** [ヴィオラ]  
 ハノーファー音楽大学  
 2015、2016年度奨学生

引き続き、クアルテットのヨーロッパと日本での活動を広げつつ勉強をしていきたい。音楽祭出演やコンクール出場も決まっているので、ぜひチャンスを生かして頑張っていきたいと思えます。



©Neda Navaee

たはら あやこ  
**田原 綾子** [ヴァイオリン]  
 桐朋学園大学  
 パリ・エコールノルマル音楽院  
 2015、2016年度奨学生

本場ヨーロッパの空気や音楽、芸術を自身の肌で感じ、幅広い経験によって人間的にも成長していくことで、奥の深い音楽表現を目指したいです。



©Kei Uesugi

つばい なつみ  
**坪井 夏美** [ヴァイオリン]  
 東京藝術大学大学院  
 2015、2016年度奨学生

ローム奨学生として、ひとつひとつの演奏の機会を大切にし、海外留学を実現させ自分の演奏の幅を広げたいと思います。



ひだか しの  
**日高 志野** [ピアノ]  
 チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院大学院  
 2016年度奨学生

伝統と歴史あるモスクワ音楽院で日々研鑽に努めており、少しずつ演奏機会も増えてきました。この国の芸術を総合的に学び、音楽を通して過去から現在まで脈々と息づくロシア芸術の素晴らしさを伝えられるように精一杯努力していきます。





ひかせ れん  
深瀬 廉 [バリトン]  
ベルリン芸術大学大学院  
2016年度奨学生

ドイツ語歌唱のための確たる技術と知識を得るべく勉強します。キャリアの面でも、次のステップに進めるよう一生懸命頑張ります。



みつい しずか  
三井 静 [チェロ]  
ザルツブルク  
モーツァルテウム音楽大学  
2015、2016年度奨学生

これからの演奏活動を支える技術を確認し、より明確に本質を伝えられる演奏を目標に勉強していきます。



ひくだ れんのすけ  
福田 廉之介 [ヴァイオリン]  
ローザン高等音楽院  
2015、2016年度奨学生

ヴァルテットなどの室内楽やオーケストラの勉強をするともに、いろいろなマスタークラスを受講し頑張ります。



むかわ けいご  
務川 慧悟 [ピアノ]  
パリ国立高等音楽院  
2015、2016年度奨学生

自分の価値・個性・社会において果たすことのできる役割などを認識・発見することに重きを置きつつ、パリにて多くのことを吸収し成長したいと思います。



まるやま なぎの  
丸山 凧乃 [ピアノ]  
東京音楽大学付属高等学校  
パリ国立高等音楽院  
パリ・エコールノルマル音楽院  
2016年度奨学生

東京音楽大学付属高等学校エクセレンスに在籍しながらパリ国立高等音楽院にて演奏家としての勉強に励みます。



よしざわ まこと  
吉澤 淳 [ソプラノ]  
アントンブルックナー私立音楽大学  
2016年度奨学生

音楽を取りまくさまざまな文化や環境にも目を向け、技術向上と音楽家としての成長につながるよう、研究を進めたいと思います。



ローム ミュージック フレンズからの

# お便り

*The letter from rohm music friends*



ローム ミュージック フレンズから届いたご活躍の様子を一部ご紹介します。(順不同)

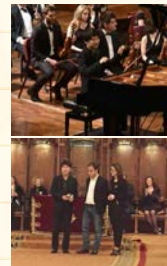
氏名 [専攻] 援助年度  
給付時の在籍学校



## マリア・カナルス国際音楽コンクールにて

さとろ ひろお  
佐藤 彦大 [ピアノ] 2009~2012年度奨学生  
東京音楽大学、東京音楽大学大学院、ベルリン芸術大学

2016年3月、マリア・カナルス国際音楽コンクールにて優勝しました。今回の受賞は僕にとって非常に大きな収穫となり、コンクール期間中、特にファイナルで心から演奏を楽しむことができ、うれしかったです。4月にはスペイン・マルベージャ、5月にはイタリア・ローマでリサイタルを終え、今後もたくさんの方の演奏会のお話をいただき身が引き締まる思いです。



上 / ファイナルでオーケストラと  
下 / 表彰式にて



## コンクール表彰式にて

みやさと なおき  
宮里 直樹 [テノール] 2015年度奨学生  
ウィーン国立音楽大学

2016年6月、第23回リッカルド・ザンドナーイ・コンコルソ第2位。イタリアではとても有名な大きなコンクールで、出場者も煌びやかな良い声の人たちが多く、あらゆる部屋から良い声が飛んできて、控え室では落ち着かず外に出たり入ったりしながら順番を待ちました。表彰式で自分の名前が呼ばれたときは本当に信じられず、壇上で感極まり涙が溢れてしまいました。またこれからも上を目指して精進していきたいと思っています。



表彰式にて



## ウィーンとピアノ室内楽の日々

さとろ まり  
佐藤 麻理 [ピアノ] 2013、2014年度奨学生  
ウィーン国立音楽大学

2016年よりピアノ四重奏団のStratos Quartett(ストラトス・カルテット)に仲間入りしました。イタリアのピネロロ/トリノ国際室内楽コンクールで優勝し、来シーズンのイタリアでのコンサート機会を多くいただいています。リンツのブルックナーハウスやチェコのドヴォルザーク音楽祭、ウィーンのエムジークフェライン、来年はロンドンのウイグモアホールでも演奏の機会をいただきました。その他自分のソロ活動やさまざまな楽器とのデュオリサイタルなど、ウィーンを中心に音楽漬けの日々に感謝です。奨学生として勉強できた日々が、今の活動につながっていること、心より御礼申し上げます。



©Martin Andrie



上 / チェコのドヴォルザーク音楽祭にて  
ドヴォルザークのお孫さんと一緒に  
下 / フィレンツェの教会でコンサート



## 欧州の音楽祭とカサ・ド・ヴェラスケス

まつみや けいた  
**松宮 圭太** [作曲] 2008~2011年度奨学生  
 パリ国立高等音楽院、IRCAM

2015年、アンサンブル・ル・ガールの創設者として演奏会の企画運営や新作初演を行いつつ、ブリュッセルのアルスムジカ2015、バルセロナのミクスチュール2016などの国際的音楽祭で作品を発表してきました。2016年は日本人作曲家で3人目となる在マドリードフランスアカデミー会員に指名され、9月からカサ・ド・ヴェラスケスに滞在します。フランスの芸術家や研究者と共に情熱の国スペインで創作活動ができるのが楽しみです。



上/M・レヴィナスのオペラ『変身』にて制作助手  
 下/ミクスチュール2016での『デヴィアシオンII』初演



## 探究心を忘れない

たにもと はなこ  
**谷本 華子** [ヴァイオリン] 1996年度奨学生  
 ブランドン大学

弦楽器の原点でもあるガット絃に魅了され、室内楽やソロのコンサートではバロック&モダンヴァイオリンを持ち替え演奏しています。所属しているZAZA quartetではモダン楽器にガット絃を張ったり、ソロではあまり世に出ていない名曲を見つけては演奏したりと、常に探究心を持ち続けることをモットーに演奏生活を楽しんでいます。



上/バロックヴァイオリンでのコンサート  
 下/日本庭園でのZAZA quartetのコンサート



## 静岡交響楽団常任指揮者

しのざき やすお  
**篠崎 靖男** [指揮] 1997年度奨学生  
 ウィーン国立音楽大学

静岡交響楽団常任指揮者に就任して1年が経ちました。定期演奏会のみならず、ジャズとのコラボコンサートや、小学校の鑑賞教室も指揮をしながら、静岡に音楽文化が根付くように頑張っております。国内に加えて欧米での活動も継続しながら、自分自身の研鑽も積んでいきたいと思っています。



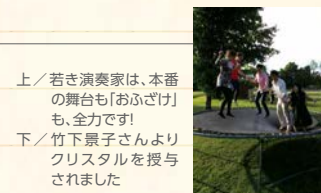
上/指揮をしているとき  
 下/静岡交響楽団



## 温かい人々に囲まれて

よしだ みなみ  
**吉田 南** [ヴァイオリン] 2014、2015年度奨学生  
 桐朋女子高等学校音楽科

2016年5月22日~6月2日にカナダのモントリオール国際コンクールに参加し、最年少で第3位に入賞させていただきました。そして帰国後、『岩谷時子賞Foundation for Youth』を受賞し、応援して下さる皆様に良いご報告ができました。支えて下さる方々あっての『今』であることを忘れず、感謝の気持ちで頑張ります。



©2010 Iwatani Tokiko foundation



## モントリオール国際音楽コンクール

つじ あやな  
**辻 彩奈** [ヴァイオリン] 2015、2016年度奨学生  
 東京音楽大学付属高等学校、東京音楽大学

2016年5月22日~6月2日にカナダで開催されたモントリオール国際音楽コンクールで第1位、併せて5つの特別賞をいただきました。他のコンペティターから技術的なことだけでなく、精神的にも多くのことを学んだコンクールでした。ファイナルではモントリオール交響楽団と弾かせていただき、ガラコンサートではすべてのお客様のスタンディングオベーション、本当に感激でした。



上/ファイナルにて  
 下/優勝と5つの特別賞のメダル



## 次なるステージへ

まつもと かずまさ  
**松本 和将** [ピアノ] 2002、2003年度奨学生  
 ベルリン芸術大学

30代後半、ずいぶんいろんなことが変わってきました。ショパンエチュード全曲への挑戦などを通して今までずっとコンプレックスだったテクニック面もずいぶん不安がなくなり、音楽的にも若いころ思い描いていたような音が少しずつ出せるようになってきました。また若手を育てる側にも回ってきたんだな、ということを実感しています。



上/NoAコンサートでのピアノ協奏曲  
 下/カンマームジークアカデミー in 呉でのレッスン風景





## 私は町の何でも屋

たにぐち しん  
谷口 伸 [バリトン] 1999、2000年度奨学生  
ウィーン国立音楽大学

さて、明日の予定は…。げ、10時からオケ合わせ  
かよ朝歌わせるなよ。明日は夜本番じゃなかつ  
た?!まあチョイ役だから良いか…。ん?何だこの  
貼り紙…この曲歌ったことねえな。でいつ…え?  
来週?楽譜持っていない!そーいや来週って新作の  
ミュージカル始まるな。また踊んのか…。

オペラ・セリアから子供用ミュージカルまで何でも  
こなして早12年目、何でも屋は今日も行く。



©Peter Awtukowitsch

上 / 「オズの魔法使い」かかし役  
薫が邪魔で歌いにくいなのんの  
下左 / 「サヴォイの舞踏会」ムスタファ・ベイ役  
フランス駐在のトルコ大使。女たらしのボンボン  
下右 / 「ドン・ジョヴァンニ」ジョヴァンニ役  
言わずと知れた超有名オペラ



## クアルテット ベルリン・トウキョウ 5歳

もりや つよし  
守屋 剛志 [ヴァイオリン] 2006～2009年度奨学生  
東京藝術大学大学院、ベルリン・ハンスアイスラー音楽大学

クアルテット ベルリン・トウキョウは、ハンブルクの  
音楽事務所Claudia Beling Artistに所属してい  
ます。札幌の六花亭・ふきのとうホールレジデンス  
契約で年2回帰国でき、演奏できることに幸せを  
感じています。



上 / 札幌駅前の六花亭・  
ふきのとうホールにて  
下 / エクサンプロヴァン  
ス音楽祭よりHSBC  
賞受賞

©Neda Navaee



## クアルテット ベルリン・トウキョウでの活動

すぎた えり  
杉田 恵理 [ヴィオラ] 2015、2016年度奨学生  
ハノーファー音楽大学

2016年4月にワイマールで行われた「ヨーゼフ・  
ヨアヒム国際室内楽コンクール」にて第3位、5月  
の「ポルドー国際弦楽四重奏コンクール」にて特  
別賞を受賞しました。また、エクサンプロヴァンス  
音楽祭にて、HSBC賞受賞記念コンサートツアー  
もさせていただきました。今後とも頑張ってい  
きたいと思います。



ポルドー国際弦楽四重奏コンクールにて



## 群馬交響楽団第518回定期演奏会デビュー

さとう ひさや  
佐藤 久成 [ヴァイオリン] 1997、1998年度奨学生  
ベルリン芸術大学

2015年の大阪フィルハーモニー交響楽団(指揮:  
小林研一郎氏)、仙台フィルハーモニー管弦楽団  
(指揮:(故)宇野功芳氏)とのチャイコフスキーの  
ヴァイオリン協奏曲での共演に続き、2016年は、  
5月に開催された群馬交響楽団第518回定期演  
奏会(指揮:井上道義氏)にてハイドンのヴァイ  
オリン協奏曲第1番を演奏しました。また今年は秋に  
CDリリースが予定されています。



群馬交響楽団第518回定期演奏会  
(Vn:佐藤久成、指揮:井上道義)



## 木琴の復権を!

つうぎき むつみ  
通崎 睦美 [マリンバ] 1991年度奨学生  
京都市立芸術大学大学院

2005年に往年の名木琴奏者・平岡養一の愛器を  
譲り受けて以来、その音色に導かれるように、「演奏」  
「執筆」両輪で木琴の復権に注力しています。2014  
年には、平岡の評伝「木琴デイズ 平岡養一「天衣無  
縫の音楽人生」」(講談社)で第24回吉田秀和賞、  
第36回サントリー学芸賞を受賞しました。本の内容  
を音楽で迎えるコンサートシリーズも続けています。



上 / サントリー学芸賞贈呈式にて  
(東京會館、2014年)  
下 / 今、甦る!木琴デイズ「宿命のライバル、  
マリンバ登場」(2016年6月)



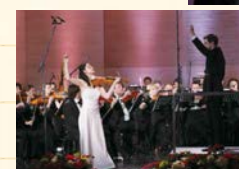
## 音楽という魔法

すぎき まい  
鈴木 舞 [ヴァイオリン] 2015、2016年度奨学生  
ザルツブルグ モーツァルテウム音楽大学

人前で演奏する場こそが、自分を磨く貴重な経験  
であると信じ、無心にステージに立って来ましたが、  
この度、ロシアのスピヴァコフ国際コンクールで  
第2位をいただくことができました。  
共演者のみならず聴衆からも力を授かった感覚  
で、まるで魔法を経験したかのようでした。  
これをステップとし、一層精進してまいります。



右 / スピヴァコフ  
国際コンクール予選  
下 / スピヴァコフ  
国際コンクール本選  
©www.vsvc.org





# ROHM MUSIC FESTIVAL 2016

## ローム ミュージック フェスティバル

2016.4/23[土]、4/24[日]

ロームシアター京都  
[メインホール/サウスホール/ローム・スクエア]

2016年1月10日オープン「ロームシアター京都」にて開催した新企画!  
国内外で活躍するこれまでの奨学生など豪華出演者による音楽祭!

2016年4月の週末2日間、ロームシアター京都で、新しい音楽の祭典「ローム ミュージック フェスティバル」を開催しました。メインホールとサウスホールではこれまでの支援事業で関わった「ローム ミュージック フレンズ」37人を中心とした豪華メンバーによる全6公演を、ローム・スクエア(野外)の特設ステージでは京都の学生による吹奏楽や合唱の全6団体が若さあふれる演奏を披露し、ロームシアター京都が音楽であふれました。



[ローム ミュージック フェスティバルの様子]



[ロームシアター京都外観]



## ローム ミュージック フレンズ 懇親会

国内外から集まったローム ミュージック フレンズが一堂に会し、親睦を深めました。





<サウスホール>

## リレーコンサートA 珠玉の室内楽

気心知れた仲間たちによるクラリネットデュオ、2台ピアノ、弦楽カルテット、ピアノトリオのアンサンブルで、白熱した演奏を披露しました。



©Akira Muto

**吉田 誠** [クラリネット]  
(2009、2010、2012年度奨学生、  
2010~2012年度音楽セミナー受講生)

音楽祭の記念すべき1回目にトップバッターを光栄にも務めさせていただくことに、実は多くのプレッシャーと責任を感じておりましたが、ホールの素晴らしい音響や京都の温かなお客様を迎えていただき、楽しんで、そして集中して演奏することができました。パリ、そしてジュネーブへの留学支援に加え、指揮セミナーでも長年にわたり勉強させていただき、感謝してもしきれないほど、温かいサポートをいただいておりますが、今回このような貴重な演奏機会を与えていただいたことに心より御礼申し上げます。



**松本 和将** [ピアノ]  
(2002、2003年度奨学生)

前日のリハーサルから懇親会、そして初日の出演から観客として最後のコンサートまで、本当に心から楽しませていただきました。ピアニストは特に普段1人孤独に音楽と向き合っていることが多いのですが、こういうお祭り騒ぎも好きな私としてはまたとない機会になりました。

- 1 吉田誠、小谷口直子(クラリネット)、塩見亮(ピアノ)
- 2 松本和将(ピアノ)、三浦友理枝(ピアノ)
- 3 磯絵里子(ヴァイオリン)、中島麻(ヴァイオリン)、吉田有紀子(ヴィオラ)、長谷部一郎(チェロ)
- 4 植村太郎(ヴァイオリン)、江口心一(チェロ)、小林有沙(ピアノ)



©佐々木卓男



©佐々木卓男



©Yuji Hori

**池上 英樹** [マリンバ]  
(1998、1999年度奨学生)

普段ピアノやヴァイオリン、歌などを聴きになる方々にマリンバを聴いていただける機会はなかなかないので、とても貴重な時間をいただいたと思っています。奨学生としてのつながりを皆意識しているのか、初めてのアンサンブルメンバーとも日知の仲のように感じていました。新しい友人もできました!平安神宮の隣という素晴らしい場所!これから芸術の殿堂が生まれ変わり、そこに自分の音楽も少し関わったことに本当に喜びを感じています。ありがとうございます!



**山本 浩一郎** [トロンボーン]  
(1992、1993年度奨学生)

この“コンサート”という形でロームに里帰りできたことを大変うれしく思っております。音楽というのは、残念なことはいくら素晴らしいとしても形に残りません。しかし私を含め、ローム ミュージック ファンデーションのサポートをいただいた多くの奨学生が日本国内はもちろん世界中で活躍しているという事実、これは立派な成果として“形”に残っていると思います。

<メインホール>

## オーケストラ コン서트I 華麗なるオペラとバレエ音楽

『フィガロの結婚』の序曲に始まり、前半は4名の歌手がそれぞれ得意のアリアと重唱を京都市交響楽団、京響コーラスと共に披露し、後半はバレエ音楽「白鳥の湖」からスペシャル・ハイライト版をお届けしました。



©toru hijiwa

**林 美智子** [メゾ・ソプラノ]  
(2002.10~2005.9音楽在外研究生)

本番は演奏者全員とお客様が一体となり、素敵な空間が生まれ、それは喜びあふれるひとときでした。ローム ミュージック ファンデーションの「音楽を通して豊かな文化を」という信念により、これまでどれだけ多くの音楽家を支えられ、成長させていただいたか…。私たちローム ミュージック フレンズは、これまでの感謝の気持ちを、音楽を通して、演奏を通して、皆様に幸せを運んでいきたいと願っています。



**泉原 隆志** [ヴァイオリン]  
(2003年度奨学生、  
2002年小澤征爾音楽塾 塾生)

フェスティバルの大成功、誠に喜ばしい限りです!チャイコフスキーの白鳥の湖では京響の渾身の演奏を、新しくできたロームシアター京都に響かせることができたと思います。また、豪華なソリストたちの演奏も素晴らしく、フェスティバルに相応しい華やかな舞台になりました。来年のフェスティバルもとても楽しみです!



- 1 左より/中島康晴(テノール)、安藤赴美子(ソプラノ)、林美智子(メゾ・ソプラノ)、青山貴(バリトン)
- 2 泉原隆志(京都市交響楽団コンサートマスター)
- 3 阪哲朗(指揮)

©佐々木卓男

<ローム・スクエア(野外特設ステージ)>



龍谷大学学友会学術文化局吹奏楽部



京都府立洛西高等学校吹奏楽部



同志社グリーンクラブ

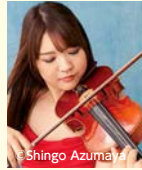
©大澤正



<サウスホール>

## リレーコンサートC ヴァイオリンとピアノ 名曲の調べ

華麗なヴィルトゥオーゾたちの妙技をお届けしました。



**Voice** 小林 美樹 [ヴァイオリン]  
(2013年度奨学生)

京都の温かいお客様にたくさんのブラボーをいただき、また新しいロームシアター京都で演奏することができ、とても幸せな本番となりました。他のたくさんの素晴らしいアーティストの方々の演奏を聞くことができたのもとても刺激になりました。



**Voice** 小林 愛実 [ピアノ]  
(2011, 2013年度奨学生)

ご支援のおかげで、これまでたくさんの経験をさせていただきました。心より感謝しております。京都の新しい象徴として誕生した素晴らしいホールで、また演奏できる日を楽しみにしております。

- 1 小林美樹(ヴァイオリン)、岡本麻子(ピアノ)
- 2 小林愛実(ピアノ)



©佐々木卓男



©佐々木卓男

## リレーコンサートD VIVA! カーニバル!

上質な音楽を気軽に楽しみたいだけのように、親しみやすい1時間のプログラムで、連弾、フルート四重奏、クラリネット五重奏、組曲「動物の謝肉祭」などさまざまな演奏を披露しました。

佐藤卓史、菊地裕介(ピアノ)、難波薫(フルート)、金子平(クラリネット)、池上英樹(パーカッション)、石橋幸子、瀧村依里(ヴァイオリン)、赤坂智子(ヴィオラ)、中木健二(チェロ)、佐野央子(コントラバス)



**Voice** 赤坂 智子 [ヴィオラ]  
(2005~2008年度奨学生、  
2001~2003年小澤征爾音楽塾 塾生)

スイスでの留学生生活を4年間も支えていただき、これは何としてでも帰国出演して少しでも恩返し、成果のようなものを見せたいと意気込んでいたのですが、直接の交流がなかった奨学生の方々とも知り合え、楽しくコンサートをさせていただき、結局また素晴らしい機会をいただいて、恩返しはいつできるのだろうと思ってしまいました。でも何よりも、音楽に精進することが少しでも恩返しなのだろうかと考え直しました。いつもお支えいただきありがとうございます!



**Voice** 難波 薫 [フルート]  
(1999~2001年度音楽セミナー受講生、  
京都国際音楽学生フェスティバル1999出演者、  
2000, 2003年小澤征爾音楽塾 塾生)

素晴らしいメンバーに出会えたお陰で、リハーサルから本番までずっと、心地好い響きに包まれた、密度の高い時間を過ごすことができました。また、ロームさんは、私が所属する日本フィルハーモニー交響楽団も支援してくださっていて、昔も今も支えられていることを実感しました。素敵な経験をさせていただき、ありがとうございました。

<メインホール>

## オーケストラ コンサートII 豪華コンチェルトの饗宴

ローム ミュージック フレンズと京都市交響楽団によるフェスティバルを締めくくる豪華コンチェルト2曲、ベートーヴェンのヴァイオリン、チェロとピアノのための三重協奏曲とチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を中心にお届けしました。



**Voice** 阪 哲朗 [指揮]  
(1992, 1993年度奨学生)

素晴らしいソリストの皆さんと、濃密な2日間を過ごすことができる貴重な機会をいただき、大変な難く、楽しませていただきました。このようななかたちで、学生時代にご支援いただいたローム ミュージック ファンデーションに、少しでもご恩返しをできたことに感謝しております。私の生まれ故郷である京都で、ロームシアター京都が根付き、地域文化とともに発展していくことを願ってやみません。



**Voice** 神谷 未穂 [ヴァイオリン]  
(2001, 2002年度奨学生)

留学時だけでなく、この様な素晴らしいチャンスを得たローム ミュージック ファンデーションに改めて感謝!メインホール満席となるほどいらしてくださったお客様、共演者の阪哲朗さん、京都市交響楽団の皆様、古川展生さん、萩原麻未さんにも感謝!今年度から特命教授として教えることになった宮城学院女子大学でも、留学時に得たものを伝えていきたいと思っています。



©佐々木卓男

- 1 神谷未穂(ヴァイオリン)、古川展生(チェロ)、萩原麻未(ピアノ)
- 2 阪哲朗(指揮)、神尾真由子(ヴァイオリン)



**Voice** 神尾 真由子 [ヴァイオリン]  
(2001, 2002年度奨学生)

第1回目のフェスティバルに参加させていただき、光栄であるとともに、懐かしき音楽仲間との再会、新たな出会いもあり、とても素晴らしい経験となりました。阪先生とは、音楽の楽しさを再確認できるような演奏ができたと思っています。ローム ミュージック ファンデーションの伝統が、次世代へとつながっていくことを祈っております。

<ローム・スクエア(野外特設ステージ)>



京都市立椋原中学校吹奏楽部



京都両洋高等学校吹奏楽部  
Kyoto Ryoyo Windband HERZ



©大澤正

立命館大学混声合唱団メディックス





## 京都・国際音楽学生フェスティバル2016

### 世界の選ばれし若き音楽学生が京都に集い共演する夢の音楽祭! 京都・国際音楽学生フェスティバル2016

1993年より毎年、京都の春を彩る音楽イベント「京都・国際音楽学生フェスティバル」。このフェスティバルは「音楽」を通じた国際交流と音楽家の育成を目的に、世界の代表的な音楽学校より選ばれた学生たちを京都に招き開催するフェスティバルです。

弦楽器、管楽器、ピアノ、歌などさまざまなジャンルでソロ、室内楽の演奏を行い、フィナーレは《音楽で巡る世界の国々》と題して参加各国の作曲家の作品をオーケストラで演奏を行う構成になっています。

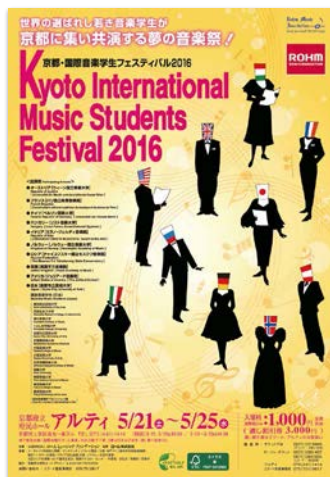
5日間通して世界の若き音楽家たちの新しい音楽観とすばらしい感性に満ちた演奏を多くのお客様にお楽しみいただきました。

【参加学生のウェルカム・レセプション】



【コンサート終了後、共演者と】

【フェアウェル・パーティー】



【参加国】



2016.5/21~5/25  
京都府立府民ホール アルティ

海外9カ国9校23人、国内13校85人、合計108人

国	学校	参加者(人)	国	学校	参加者(人)
アメリカ	ジュリアード音楽院	4	日本	桐朋学園大学	2
オーストリア	ウィーン国立音楽大学	2		東京藝術大学	3
フランス	パリ国立高等音楽院	3		国立音楽大学	1
ドイツ	ベルリン芸術大学	3		武蔵野音楽大学	2
ロシア	チャイコフスキー国立モスクワ音楽院	3		東京音楽大学	3
イタリア	ミラノ・ヴェルディ音楽院	2		大阪音楽大学	27
ハンガリー	リスト音楽大学	1		京都市立芸術大学	27
ノルウェー	ノルウェー国立音楽大学	1		愛知県立芸術大学	2
英国	英国王立音楽院	4		大阪芸術大学	2
				同志社女子大学	5
				相愛大学	6
				くらしき作陽大学	2
				洗足学園音楽大学	3

※参考 ・出演学生証人数 海外:520人、国内:2,180人、計:2,700人 ・開催回数 計24回(1993年~2016年)



#### Voice

#### お客様の声

- ・若い音楽家の成長が楽しみ。高級フランス料理のディナーをお手軽なランチの予算で味あわせていただいたような感覚で、とても感謝。
- ・ずっと来たかったフェスティバル。今年は念願が叶いうれしかった。
- ・音楽でつながる素晴らしさを感じた。

#### Voice

#### 各国参加学生の声

- ・フェスティバル、音楽の演奏、異文化学習という意味でも最も有意義な経験になりました!(ドイツ)
- ・また来日して観客を楽しませる演奏ができればいいと感じました。(ロシア)
- ・オーケストラだけでなく室内楽もできたので、世界の方々と深い交流を図るうえで有意義でした。(日本)



## ローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナー2016(管楽器クラス)

この音楽セミナーは、世界的に活躍している音楽家を講師に迎え、プロの音楽家の育成を目的に1992年より開催しています。これまでに、「弦楽器クラス」「管楽器クラス」「指揮者クラス」と実施してきました。受講生たちは、7日間の集中したソロと室内楽のレッスンをを行い、朝から晩まで切磋琢磨して音楽を学びました。また、最終日にはできたばかりのロームシアター京都でコンサートを行い、若い音楽家たちのみずみずしい演奏を多くのお客様にお楽しみいただきました。



2016.7/17~7/24

セミナー :2016.7/17~7/23  
メルパルク京都

コンサート:2016.7/24  
ロームシアター京都 サウスホール

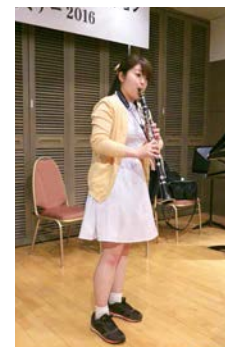
開催回数	開催期間	受講生(人)	開催クラス
第1回~第8回	1992~1996	154	弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
第9回~第13回	1998~2002	149	管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)
第14回~第23回	2003~2005、2007~2013	97	指揮者
第24回、第25回	2015、2016	50	管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)
計		450	

## 受講生インタビュー



Voice 柿沼 麻美  
[ファゴット]

レッスンを受けるだけでなく、いろいろな楽器のレッスンを聴講することでファゴット以外の楽器の特性が分かり、アンサンブルをするうえでとても勉強になりました。他の受講生のレッスンからアイデアを取り入れたり、自分の弱点が把握できて、この一週間が大きな収穫になりました。



Voice 渋谷 友理  
[クラリネット]

木管五重奏をすることが初めてでしたが、楽器の聴き方や自分のポジションなどを学べてとても勉強になりました。自分の対応力が試されるなど難しいところはありましたが、皆さんに支えていただいていたアンサンブルができました。この経験を、これからオーケストラなどで活かしていきたいです。



コンサート会場でのリハーサル



コンサート(ソロ演奏)



コンサート(講師陣によるアンサンブル演奏)



フルート 工藤重典先生のレッスン



クラリネット 山本正治先生のレッスン



ファゴット 吉田将先生のレッスン



オーボエ 古部賢一先生のレッスン



ホルン 猪井正幸先生のレッスン



室内楽のレッスン





ロームシアター京都を制作拠点に初めての公演!

## 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIV

### J.シュトラウスII世:喜歌劇「こうもり」

ROHM CLASSIC SPECIAL

#### 【小澤征爾音楽塾とは?】

小澤征爾さんをはじめとした一流の音楽家がオペラを通じて若手音楽家を育成することを目的に2000年からスタートした教育プロジェクト。恩師であるカラヤンの言葉「交響曲とオペラは、音楽という車の車輪のようなもの」を持論とする小澤さんは、その実践の場として小澤征爾音楽塾公演を開催しています。ロームは活動が開始した2000年より、その公演活動を継続的に支援しています。



#### 【全3幕】<原語上演/字幕付>

2016.2/18・2/20 ロームシアター京都  
2/24 愛知県芸術劇場  
2/27 東京文化会館

今回は、2016年1月にオープンしたロームシアター京都をオペラの制作拠点として公演されました。新しい劇場の幕開けに相応しい楽しいオペラが上演され、お客様はスタンディングオベーションでその素晴らしいステージに賛辞を送りました。

音楽監督・指揮：小澤征爾  
指揮：村上寿昭  
※指揮は小澤征爾、村上寿昭の2人による振り分け  
演出：デイヴィッド・ニース  
管弦楽：小澤征爾音楽塾オーケストラ  
合唱：小澤征爾音楽塾合唱団  
出演：タマラ・ウィルソン、アドリアン・エリート、アナ・クリスティー、ディミトリー・ピタス、マリー・ルノルマン、ザッカリー・ネルソン、デル・トラヴィス、ジャン＝ポール・フーシェール、藤尾麻衣、笹野高史

オリジナル・プロダクション：オットー・シェンク  
オリジナル・プロダクション照明デザイン：ギル・ウェシュラー  
このプロダクションは、メトロポリタン歌劇場が所有しています。  
プロダクション初演：1986年12月4日 メトロポリタン歌劇場  
装置、小道具、衣裳 制作：メトロポリタン歌劇場ショップ



#### 子どものためのオペラ

喜歌劇「こうもり」より <原語上演/字幕付>

2016.2/15 ロームシアター京都

「子どものためのオペラ」は、「本物のオペラを体験してほしい」という小澤征爾さんの思いから生まれた、小学生を対象とするオペラ公演です。2016年には、京都の小学生約3,000人を無償招待して、公演を鑑賞していただきました。はじめに小澤さんと俳優の笹野高史さんが会場に登場すると子どもたちからは大歓声が。オペラの説明の後、オーケストラの各楽器が工夫を凝らした演出で登場し、空であったオーケストラピットが徐々に埋まってきました。そして本番では、本公演のカバーキャスト(控え歌手)が出演し、2幕を抜粋して披露され、小学生たちはその豪華なステージと演奏に目を輝かせていました。



2017年も小澤征爾音楽塾の公演が開催されます!

## 小澤征爾音楽塾 オペラ・プロジェクトXV G.ビゼー:歌劇「カルメン」 ROHM CLASSIC SPECIAL

2017.3/20・3/22 ロームシアター京都  
3/26 東京文化会館  
3/29 愛知県芸術劇場

※チケットは、2016年12月17日(土)より発売



## 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIV

### J. シュトラウスII世: 喜歌劇「こうもり」

ROHM CLASSIC SPECIAL



Voice

小澤 征爾

[小澤征爾音楽塾 塾長・音楽監督・指揮]

ロームシアター京都が完成したことで、小澤征爾音楽塾にとってのホームベースとなって、すごくうれしいです。それに、ロームシアター京都のなかで練習して、オペラ作品を作りあげられる環境は、オーケストラ楽員たちや歌手たち(僕ら作り手)にとってもすごくすばらしいことです。これから、ロームシアター京都に来てくれるお客さんたちが、小澤征爾音楽塾のオペラが、自分たちとつながっている、自分たちのオペラだ、とってくれるといいなと思います。佐藤研一郎\*さんと僕のオペラに対する夢が、京都で実現できるようになって、ほんとうに感謝しています。

\*公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 理事長/ローム株式会社 取締役



Voice

村上 寿昭 [指揮]

(2000、2001年度奨学生)

私がローム ミュージック ファンデーションの奨学生としてお世話になった2000年、2001年の2年間は、ウィーン国立音楽大学でレオポルト・ハーガー教授、湯浅勇治先生に師事していました。また当時、ウィーン国立歌劇場で音楽監督をされていた小澤征爾先生のアシスタントをしていました。その他、作品をより深く理解するために、各地の音楽家にまつわる場所を訪れたりしていました。また、互いの刺激となる音楽家の仲間との出会いも多くありました。思い返せばあの2年間は、自分の音楽家としての基礎を築く濃密な時間であったといえます。それらを可能にしてくれたローム ミュージック ファンデーションには心から感謝しています。

ウィーンで本場のオペラに触れたことで、オペラに対する興味や自分の将来に対するイメージが膨らみ、その後のオペラ指揮者としての活動につながるのです。

あれから15年。自分を育ててくれた小澤先生、ウィーン、そしてローム ミュージック ファンデーション。それら私の人生の重要なキーワードと密接な関係のある小澤征爾音楽塾での「こうもり」は、私にとって大変意義深いものでした。最高の恩返しにしたいという思いで臨みましたが、実際は師匠である小澤先生の偉大さをあらためて認識し、恩返しどころか私自身が多くの学びを得ることになりました。また才能あふれる若き音楽家達と仲間になることができたというのはとても幸せなことでした。1ヵ月という練習期間のなかで、素晴らしい集中力を発揮し成長を見せてくれました。本番の公演は大成功だったといえるのではないのでしょうか。彼らとまた将来共演する日が来るのがとても楽しみです。



## ロームシアター京都 ミュージックサロン

ロームシアター京都の開館と同日である2016年1月10日にオープンしたミュージックサロン。音楽とさまざまな形で触れ合うことができる施設として各種イベントを開催し、これまでに多くのお客様にご来場いただいています。



©上田祐勢

### ■「ミュージックサロン」施設概要

場 所：ロームシアター京都 パークプラザ3階東側  
面 積：約96㎡  
定 休 日：臨時休館日を除き年中無休  
営 業 時 間：10:00～19:00

利 用 料 等：無料、原則出入り自由(一部整理券が必要な場合あり)  
主 要 設 備：7.1chサラウンドシステム、120インチスクリーンプロジェクター、演奏スペースなど  
主 な 開 催 内 容：オペラやオーケストラなどの映像・音源の放映、イベント(コンサート、セミナー、資料展示等)の開催

## ミュージックサロンスケジュール

期 間	内 容	
2016.1/10～3/19	展示会 上映会	小澤征爾音楽塾展
3/21	イベント	朝岡聡がひもとく“オペラの謎”
3/22～5/15	上映会	オペラ オン ザ・スクリーン [助成事業/オペラ公演]
5/16～6/1	上映会	京都・国際音楽学生フェスティバル2008～2015(2009年は公演中止)
5/28	イベント	クラシックコンサートの楽しみ方
6/1～6/30	上映会	オペラ オン ザ・スクリーン [小澤征爾音楽塾2005「セビリヤの理髪師」、 [小澤征爾音楽塾2009「ヘンゼルとグレーテル」]
7/2	イベント	作曲家について知ろう～ショパンとリストをたどって～
7/1～7/31	上映会	ローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナーコンサート2015
8/1～8/31	上映会	ローム ミュージック ファンデーション スカラシップ コンサート
9/1～9/23	上映会	ミュージックサロン 2016.3/21開催イベント 朝岡聡がひもとく“オペラの謎”
9/25	イベント	舞曲でめぐるヴァイオリンの魅力

## 2016.3/21 朝岡聡がひもとく“オペラの謎”

コンサート ソムリエの朝岡聡さんと、ローム ミュージック ファンデーションのこれまでの奨学生である鈴木愛美さん(ソプラノ)、志摩大喜さん(テノール)、近藤圭さん(バリトン)、越知晴子さん(ピアノ)を迎え、実際に演奏を聴きながらオペラの楽しみ方をレクチャーしていただきました。



## 2016.5/28 クラシックコンサートの楽しみ方

数多くのクラシックコンサートやミュージカル、またテレビ・ラジオの構成・脚本を手がけるなど、日本でもっとも活躍している構成作家のひとり、新井鷗子さんを迎え、初心者でもクラシックをより楽しめるよう、深く名曲を掘り下げたり、コンサートの舞台裏について、教えていただきました。



## 2016.7/2 作曲家について知ろう ～ショパンとリストをたどって～

同時期を過ごしたショパンとリストについて、2人が交流した時期を中心に、それぞれの生涯・作品・演奏スタイルなどの違いや共通点を、ローム ミュージック ファンデーション奨学生で演奏や指導など多岐に渡り活躍する吉田友昭さん(ピアノ)を迎え、初心者にも分かりやすく、それぞれの演奏を交えてご紹介いただきました。

## 2016.9/25 舞曲でめぐるヴァイオリンの魅力

ローム ミュージック ファンデーションのこれまでの奨学生で演奏や指導など多岐に渡り活躍される大谷玲子さん(ヴァイオリン)と岡本麻子さん(ピアノ)を迎え、オーケストラや室内楽、ソロ演奏などクラシック音楽には欠かせないヴァイオリンの魅力、分數ヴァイオリンなどをお見せいただき、さまざまな国の舞曲を中心にめぐりながらお話と演奏を交えてご紹介いただきました。



最新のイベント情報や展示内容は、ローム ミュージック ファンデーションのWebページよりご覧いただけます。



# 奨学生一覧

(各分野五十音順)

## ヴァイオリン/91人

青木 尚佳  
青谷 友香里  
アシュリー マリア アヤ  
東 珠子  
安彦 千恵  
伊賀 あや  
石橋 幸子  
泉原 隆志  
磯 絵里子  
糸井 真紀  
伊藤 文乃  
井上 奈央子  
植村 太郎  
植村 菜穂  
植村 理葉  
牛草 春  
エリック・シューマン  
尾池 亜美  
王 中男  
大江 馨  
大岡 仁  
大島 莉紗  
大谷 玲子  
岡崎 慶輔  
岡本 誠司  
小野 明子  
樫本 大進  
加野 景子  
神尾 真由子  
神谷 未穂  
川村 奈菜  
木嶋 真優  
岸本 萌乃加  
木村 悦子  
清永 あや  
日下 紗矢子  
倉富 亮太  
黒川 侑  
郷古 廉  
小林 吉成  
小林 美緒  
小林 美樹  
佐橋 まどか  
佐藤 久成  
志満 直美  
島田 真千子

島原 早恵  
清水 有紀  
白井 麻友  
菅井 京子  
鈴木 愛理  
鈴木 舞  
周防 亮介  
滝 千春  
瀧村 依里  
田島 悠子  
立上 舞  
田中 晶子  
田中 晶子  
谷本 華子  
玉井 菜採  
千葉 水晶  
辻 彩奈  
坪井 夏美  
長尾 春花  
中島 麻  
成田 達輝  
西川 茉莉奈  
西澤 和江  
二瓶 真悠  
林 悠介  
原 麻里亜  
原田 亮子  
福田 廉之介  
藤江 扶紀  
前田 志乃  
正戸 里佳  
松川 暉  
松田 理奈  
三上 亮  
村田 美英  
毛利 文香  
守屋 剛志  
矢野 玲子  
山根 一仁  
梁 美沙  
弓 新  
湯本 亜美  
吉田 南  
米元 響子  
渡邊 ゆづき

## ヴィオラ/12人

赤坂 智子

大野 若菜  
金丸 葉子  
坂口 翼  
杉田 恵理  
瀧本 麻衣子  
田原 綾子  
中島 悦子  
原 麻理子  
牧野 葵美  
山崎 智子  
渡邊 千春

## チェロ/31人

伊藤 悠貴  
上野 通明  
上村 文乃  
植村 葉夏  
江口 心一  
遠藤 真理  
岡本 侑也  
奥田 なな子  
加藤 文枝  
門脇 大樹  
唐沢 安岐奈  
熊澤 雅樹  
佐々木 蘭望  
笹沼 樹  
高木 慶太  
辻本 玲  
中木 健二  
長谷川 彰子  
林 裕  
平野 朝水  
藤井 泉  
堀江 牧生  
松山 翔子  
マーク・シューマン  
三井 静  
峰本 更  
宮田 大  
山上 ジョアン 薫  
山本 徹  
横坂 源  
渡邊 方子

## クラシックギター/3人

谷辺 昌央  
藤元 高輝  
松本 大樹

## ヴィオラ・ダ・ガンバ/1人

酒井 淳

## フルート/17人

阿部 礼奈  
井坂 実樹  
岩瀬 桐子  
中島 星矢  
上野 星矢  
大久保 彩子  
久保 順  
倉田 優  
小山 裕幾  
庄田 奏美  
中村 薫  
萩原 貴子  
藤井 香織  
本宮 湖心  
増本 竜士  
森岡 有裕子  
若林 かをり  
渡邊 玲奈

## オーボエ/4人

荒 絵理子  
岡山 理絵  
田代 奏子  
本多 啓佑

## クラリネット/10人

梅原 希枝  
金子 平  
小林 知世  
小山 洋子  
白子 正樹  
辻本 聡子  
中川 知美  
原田 綾子  
福田 さあや  
吉田 誠

## サクソフォン/1人

中島 諒

## ファゴット/3人

小山 莉絵  
中野 陽一朗  
藤村 踊子

## トランペット/2人

菊本 和昭  
佐藤 友紀

## トロンボーン/2人

清水 真弓  
山本 浩一郎

## ユーフォニウム/1人

安東 京平

## 打楽器/5人

池上 英樹  
岩見 玲奈  
沓野 勢津子  
通崎 睦美  
福山 直子

## ハープ/5人

景山 梨乃  
シュレイファー 弓子  
高野 麗音  
林 千佳世  
福井 麻衣

## パイプオルガン/1人

椎名 雄一郎

## チェンバロ/2人

北御門 はる  
脇田 英里子

## ピアノ/122人

浅野 未麗  
有吉 亮治  
石井 楓子  
石川 武蔵  
石田 啓明  
石村 純  
乾 絵美  
今井 彩子  
今田 篤  
入江 一雄  
岩本 恵理  
梅村 知世  
江澤 茂敏  
江尻 南美  
岡田 奏  
大井 浩明  
大崎 結真  
大西 真由子  
岡本 麻子  
奥田 暁仁  
奥村 友美

## 小沢 麻由子

越知 晴子  
海瀬 京子  
梯 剛之  
柏原 佳奈  
加藤 大樹  
加藤 洋之  
加野 瑞夏  
神野 千恵  
河内 仁志  
川崎 翔子  
川島 基  
川田 健太郎  
河村 尚子  
菊地 裕介  
菊池 洋子  
喜多 宏丞  
清塚 信也  
日下 知奈  
工藤 奈帆美  
久保 千尋  
倉澤 杏菜  
黒岩 航紀  
高 実希子  
壽 千明  
小林 愛実  
小林 有沙  
小林 海都  
齊藤 一也  
坂本 真由美  
崎谷 明弘  
佐々木 宏子  
佐竹 裕介  
佐藤 卓史  
佐藤 彦大  
佐藤 麻理  
佐野 まり子  
紫垣 英二  
志鷹 美紗  
釈迦郡 洋介  
白川 多紀  
菅野 雅紀  
鈴木 謙一郎  
住友 郁治  
関本 昌平  
山田 剛史  
山本 亜希子

## 高田 匡隆

高橋 礼恵  
内匠 慧  
田中 香織  
田中 正也  
田村 響  
津嶋 啓一  
津田 裕也  
鶴見 彩  
土居 知子  
中尾 純  
中桐 望  
中島 彩  
長瀬 賢弘  
中元 千鶴  
奈良 希愛  
新美 光映  
沼澤 淑音  
萩原 麻未  
橋本 尚  
服部 慶子  
花岡 克典  
浜野 与志男  
林田 麻紀  
日高 志野  
平松 悠歩  
福田 和子  
真隅 政大  
松尾 久美  
松岡 淳  
松本 和将  
丸山 耕路  
丸山 凧乃  
萬谷 衣里  
Elezovic MIA  
三浦 友理枝  
三戸 あけみ  
三宅 麻美  
宮下 彩子  
宮田 理生  
務川 慧悟  
村田 理夏子  
村松 珠美  
森田 義史  
矢島 愛子  
山田 剛史  
山本 亜希子

## 吉兼 加奈子

ティーン 吉川 右希子  
吉田 友昭  
吉武 優  
米津 真浩  
李 早恵  
脇岡 洋平

## オルガン/2人

福本 茉莉  
宗 かおり

## 声乐/56人

石井 教子  
市原 愛  
乾 麻里子  
上杉 清仁  
江口 輝博  
大島 京子  
岡田 昌子  
加藤 史幸  
加藤 麻衣  
川島 幸子  
川原 成子  
木下 周子  
木下 美穂子  
木村 善明  
木村 里花子  
蔵田 みどり  
小玉 晃  
小林 沙羅  
近藤 圭  
崔 宗宝  
坂本 知亜紀  
志摩 大喜  
清水 俊徳  
周 江平  
杉原 かおり  
鈴木 愛美  
田邊 織恵  
谷口 伸  
谷村 由美子  
田村 麻子  
趙 非  
津國 直樹  
辻 裕久  
寺田 功治  
田大成  
富岡 明子

## 中川 恵美里

中島 康晴  
鳴海 真希子  
林 佑子  
深瀬 廉  
藤木 大地  
藤谷 佳奈枝  
本田 智衣  
松原 友  
真野 路津紀  
溝淵 悠理  
峯島 望美  
宮里 直樹  
森野 美咲  
山下 新吾  
山本 美央  
吉澤 淳  
吉田 貴子  
藍 野流  
李 恩敬

## 指揮/21人

栗辻 聡  
石川 星太郎  
伊藤 翔  
垣内 悠希  
川本 貢司  
岸本 有理  
鬼原 良尚  
齊藤 一郎  
阪部 慎太郎  
篠崎 靖男  
下野 竜也  
杉本 優  
橋 直貴  
寺岡 清高  
阪 哲朗  
三ツ橋 敬子  
村上 寿昭  
村中 大祐  
森 香織  
森口 真司  
森田 宏樹

## 作曲/19人

阿部 俊祐  
稲森 安太己  
今井 智景

## 北爪 裕道

木下 正道  
小出 稚子  
酒井 健治  
坂田 直樹  
塚本 瑛子  
中川 佐織  
夏田 昌和  
朴 炳五  
松宮 圭太  
松本 直祐樹  
ママトウメル  
山口 紘  
李 大軍  
渡邊 愛  
渡辺 裕紀子

## 教会音楽/1人

小山田 薫

## 音楽学/13人

金 士友  
真方 マキ子  
周 耘  
白石 悠里子  
関本 菜穂子  
園田 みどり  
高野 裕子  
戸祭 哲子  
西村 理  
畑野 小百合  
早坂 牧子  
丸山 瑠子  
李 金叶

## オペラ演出/4人

井原 広樹  
郭 才銀  
馬 金泉  
森岡 純子

計 429人

(2016年12月現在)

Rohm Music  
Foundation  
ロームミュージックファンデーション



2016.1.10 OPEN  
ロームシアター京都  
ROHM Theatre Kyoto

ローム ミュージック フレンズ No.4  
—ロームミュージックファンデーションの音楽文化支援情報誌—

発行 2016年12月

企画・発行：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション  
〒615-0044 京都市右京区西院西中水町1  
TEL (075) 311-7710 FAX (075) 311-0089  
<http://www.rohm.co.jp/rmf>

協 賛：ローム株式会社

この情報誌に掲載の写真・文章の無断転載を禁じます。

2016.12.5K

UD  
FONT

